

令和6年度 通信教育実施計画 【歴史総合】

歴史総合	学年	1 学年	単位数	2 単位	課題	6 枚	面接	2 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「新選 歴史総合」東書 歴総 701
------	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	------------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができたか。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができたか。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民と我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができたか。</p>

(2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	近代化と私たち			国際秩序の変化や大衆化と私たち		国際秩序の変化や大衆化と私たち
学習項目	○近代化への問い	○結び付く世界と日本の開国	○国民国家と明治維新 ○近代化と現代的な諸課題	○国際秩序の変化や大衆化への問い ○第一次世界大戦と大衆社会	前期単位認定試験	○経済危機と第二次世界大戦
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通と貿易 産業と人口 移民 	<ul style="list-style-type: none"> 18世紀の東アジア 18世紀のヨーロッパとアジア 東アジア国際関係の変化と日本の開国 世界経済の変化と日本の産業革命 	<ul style="list-style-type: none"> 市民国家と近代社会 アジアの諸国家とその変容 日清戦争と華夷秩序の解体 帝国主義諸国の競合と国際関係 	<ul style="list-style-type: none"> 大衆社会の時代 第一次世界大戦の展開 国際協調体制の形成 アジア経済成長と移動する人々 		<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌 国際協調体制の崩壊 第二次世界大戦の勃発 アジア太平洋戦争と日本の敗戦
添削課題		1枚（添削課題①）	1枚（添削課題②）	1枚（添削課題③）		
面接指導				面接指導 1時間		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち	グローバル化と私たち				次年度学習への展望
学習項目	○国際秩序の変化や大衆化と ○現代的な諸課題	○グローバル化への問い ○冷戦と世界経済	○世界秩序の変容と日本	○現代的な諸課題の形成と展望	後期単位認定試験	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 連合国の占領政策と冷戦 再編されるアジアと冷戦 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の拡大と第三勢力 脱植民地化の進展と地域紛争 冷戦下の日本とアジア 日本と欧米先進国の経済成長 	<ul style="list-style-type: none"> 石油危機と経済の自由化 アジアの経済発展と日本 冷戦の終結と世界 拡散する地域紛争 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化と地域統合 現代的な諸課題の形成 		
添削課題	1枚（添削課題④）	1枚（添削課題⑤）		1枚（添削課題⑥）		
面接指導			面接指導 1時間			

このページはフォーマットのみ。

令和6年度 通信教育実施計画 【地理総合】

地理総合	学年	2 学年	単位数	2 単位	課題	6 枚	面接	2 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「地理総合」東書 地総 701
------	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	---------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かみ養われる日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

(2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況の評価します。

イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況の評価します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況の評価します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	地図や地理情報システムでとらえる現代世界			国際理解と国際協力(人々の生活文化と多様な地理的環境)		国際理解と国際協力
学習項目	○私たちが暮らす世界	○地図や地理情報システムの役割	○資料から読み取る現代世界	○生活文化の多様性と国際理解 ○生活文化と自然環境①地形	前期単位認定試験	○生活文化と自然環境②気候
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度 地球儀と世界地図 日本の位置と領域 	<ul style="list-style-type: none"> 地図の種類 地形図のルール 主題図の種類と読み取り 地理情報システムと地図 	<ul style="list-style-type: none"> 交通の発達 情報通信の発達 国境をこえる人々の移動 拡大する貿易 つながる世界, 多極化する世界 	<ul style="list-style-type: none"> 文化の地域性と多様性 宗教と人々の暮らし 山地の暮らし 平野の暮らし 海岸の暮らし 		<ul style="list-style-type: none"> 多様な気候とその分布 熱帯の人々の暮らし 乾燥帯の人々の暮らし 温帯の人々の暮らし 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし
添削課題		1枚(添削課題①)	1枚(添削課題②)	1枚(添削課題③)		
面接指導			面接指導 1時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	国際理解と国際協力(人々の生活文化と多様な地理的環境)	国際理解と国際協力(さまざまな地球的課題と国際協力)		持続可能な地域づくりと私たち(自然環境と防災)		次年度学習への展望
学習項目	○生活文化と産業	○地球環境問題 ○資源・エネルギー問題 ○人口問題	○食料問題 ○居住・都市問題 ○民族問題 ○持続可能な社会の実現をめざして	○日本の自然環境の特色 ○さまざまな自然災害と防災	後期単位認定試験	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 食生活と農業の分布 工場立地の変化 商業立地と人々の生活 情報産業の発達と生活文化の変化 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題(1) 地球環境問題(2) 資源・エネルギーの偏在 化石燃料から再生可能エネルギーへ 発展途上国の人口問題 先進国の人口問題 	<ul style="list-style-type: none"> 食料需給をめぐる問題 食料需給をめぐる問題 発展途上国の居住・都市問題 先進国の居住・都市問題 民族問題・難民問題 地球的課題と国際協力 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形の特色 日本の気候の特色 地震災害・津波災害(1) 地震災害・津波災害(2) 火山の災害とめぐみ 		
添削課題	1枚(添削課題④)	1枚(添削課題⑤)		1枚(添削課題⑥)		
面接指導		面接指導 1時間				

令和6年度 通信教育実施計画 【世界史探究】

世界史探究	学年	2 学年	単位数	4 単位	課題	12 枚	面接	4 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「世界史探究」 東書 世探 701
-------	----	------	-----	------	----	------	----	------	------------	-----------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

社会的事業の歴史的な見方・考え方を働かせ。課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>世界の歴史の大きな枠組と展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。</p>	<p>世界の歴史の大きな枠組と展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養ったか。</p>	<p>世界の歴史の大きな枠組と展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養された日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めたか。</p>

(2) 評価の方法

ア 年 12 回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

イ 年 4 時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況を評価します。

ウ 年 2 回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	諸地域の歴史的特質		諸地域の交流と再編			諸地域の交流と再編
学習項目	○古代文明の出現 ○西アジアと地中海周辺	○南アジア ○東アジア ○アフリカ など	○イスラーム世界の拡大 ○中世ヨーロッパ ○中華世界の変容とモンゴル	○インド洋海域世界の発展 ○大交易時代と世界の一体化	前期単位認定試験	○ユーラシア諸帝国の繁栄 ○主権国家体制の形成
学習内容	・古代オリエント ・古代オリエントの統一 ・古代ギリシア ・ローマ帝国 など	・南アジアにおける国家形成 ・古代帝国の誕生 ・隋唐帝国	・イスラーム世界の発展 ・中世ヨーロッパ社会 ・モンゴル帝国と元	・イスラームのインド ・アジア交易圏の再編 ・大交易時代の世界		・中央アジアと西アジア ・ムガル帝国 ・主権国家群の形成 ・啓蒙専制国家の発展など
添削課題	1枚 (添削課題①)	2枚 (添削課題②③)	2枚 (添削課題④⑤)	1枚 (添削課題⑥)		1枚 (添削課題⑦)
面接指導			面接指導 2時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	一体化していく世界		グローバル化と地球的課題		後期単位認定試験	次年度学習への展望
学習項目	○国民国家と近代社会の形成 ○世界市場の形成とアジア ○A・A諸国の統治再編	○第一次世界大戦と諸地域の変容 ○第二次世界大戦	○冷戦の世界化と国際制度 ○冷戦の変容と終結	○21世紀の地球的課題と人類社会		
学習内容	・アメリカ合衆国 ・フランス革命 ・産業資本主義の波及 ・西アジアの危機 など	・第一次世界大戦 ・世界恐慌 ・第二次世界大戦 ・帝国の解体と分断国家	・冷戦と政治・経済秩序 ・A・A諸国の独立 ・冷戦の終結 ・アメリカ合衆国の復調	・グローバル化にともなう世界の変容 ・地球的諸課題 ・新たな秩序変容		
添削課題	2枚 (添削課題⑧⑨)	2枚 (添削課題⑩⑪)	1枚 (添削課題⑫)			
面接指導		面接指導 2時間				

令和6年度 通信教育実施計画 【日本史探究】

日本史探究	学年	3 学年	単位数	3 単位	課題	9 枚	面接	3 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「日本史探究」東書 日探 701
-------	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	----------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に直結する科目として、下記の目標を目指していきます。

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 歴史資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。歴史資料の特性をふまえ、資料を通して読み取れる情報から、先史・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	・諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養い、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている

(2) 評価の方法

ア 年9回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

イ 年3時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	古代国家の形成と貴族文化の誕生		武家社会の形成	近世社会の形成		近世社会の形成
学習項目	○原始社会の生活と文化 ○農耕社会の形成と大陸文化の 摂取 ○律令国家の形成	○天平文化 ○撰関政治と文化の和様化 ○中世社会の成立	○中世社会の成立 ○武家社会の形成と東アジア	○ヨーロッパ文化との接触と国 内統一	前期単位認定試験	○幕藩体制の成立 ○近世社会の発達と町人文化
学習内容	・縄文文化 ・弥生文化と小国家の形成 ・大和王権と古墳文化 ・飛鳥の朝廷と文化 ・律令国家成立と白鳳文化	・平安遷都と唐風文化 ・貴族文化と撰関政治 ・国風文化 ・院政と荘園	・平氏政権の登場 ・鎌倉幕府の誕生 ・執権政治と元寇 ・鎌倉仏教と文化 ・室町幕府の創設 ・下剋上の社会と戦国大名	・ヨーロッパ文化との接触 ・織豊政権による全国統一 ・桃山文化		・江戸幕府と大名・朝廷 ・身分制度の確立 ・キリスト教禁止と鎖国 ・幕府政治の進展 ・経済と産業の発達 ・学問の新傾向と元禄文化
添削課題	1枚(添削課題①)	1枚(添削課題②)	2枚(添削課題③④)	1枚(添削課題⑤)		1枚(添削課題⑥)
面接指導			面接指導 1時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	近代国家の形成と国民文化の発展		現代の社会と日本	1年間の復習		今後の学習への展望
学習項目	○幕藩体制の動揺と庶民文化の 発達 ○開国から明治維新へ ○立憲政治の形成と国民文化	○日本の近代化と東アジア ○デモクラシーと第一次世界大 戦 ○激動する世界と日本	○占領と国内改革 ○国際社会への復帰 ○石油ショックと低成長の時代 ○新しい国際秩序と日本の課題	後期及び1年間の学習内容を振 り返る。	後期単位認定試験	
学習内容	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・開国と幕府の滅亡 ・統一国家の成立 ・殖産興業と文明開化 ・明治初期の国際情勢 ・政府専制への批判 ・立憲政治の確立 ・新しい文化の形成	・日清戦争と東アジアの変容 ・「中国分割」と日露戦争 ・工業化と資本主義の発達 ・近代文化の発達 ・第一次世界大戦と日本 ・揺れ動く経済と中国侵略の本格 化 ・日中戦争と国内体制の改編 ・太平洋戦争	・占領と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と経済復興 ・国際社会への復帰と対米協調 ・激変する世界と日本 ・停滞する日本経済と成長するア ジア			
添削課題	1枚(添削課題⑦)	1枚(添削課題⑧)	1枚(添削課題⑨)			
面接指導	面接指導 2時間					